



## 桃太郎やドラえもんを要約しよう

むかーしむかし、あるところに、おじいさんとおばあさんがいました。  
おじいさんは、山へしばかりに、おばあさんは川へせんたくに行きました。  
た。

おばあさんが川でせんたくをしていると・・・

今週の国語の時間。

授業開始直後に、おもむろに話し始めました。

大きな桃が、ドンブラコ、ドンブラコと流れてきます。

普通に話しているだけなのですが、子どもたちはなぜか笑っています。  
途中、話をいきなり切って聞きました。

何のお話ですか。

「桃太郎です！」

大きな声が返ってきました。

さすが日本を代表する昔話です。

その後、すぐに言いました。

桃太郎のお話を、20文字以内でまとめてごらん下さい。

子どもたちは少しどよめきました。

が、すぐに事態を飲み込んだらしく鉛筆を動かし始めます。

文を短くまとめることを「要約」とも教えました。

出来た子から、ホワイトボードに書いていきました。

- ・桃太郎が犬さるきじと鬼たいじをした話
- ・桃から生まれた桃太郎は鬼をたおした。
- ・大きな桃から生まれた人の話。

- ・桃太郎がおにたいじをして宝を持ちかえった。
- ・大きな桃がドンブラコとながれてきた。
- ・桃から生まれた桃太郎のお話。

一通り書けた所でこう言いました。

10点満点で点数をつけていきますね。

子どもたちが書いたそばから、赤いマーカーで要約文の上に点数を書いていきました。

- 9・犬さるきじといっしょに鬼たいじをした話
- 3・桃から生まれた桃太郎は鬼をたおした。
- 0・大きな桃から生まれた人の話。
- 6・桃太郎がおにたいじをして宝を持ちかえった。
- 0・大きな桃がドンブラコとながれてきた。
- 3・桃から生まれた桃太郎のお話。

点数を見て、子どもたちは考え込みます。

「何であれば9点？」

「私の3点だ！」

一言だけ言って、作業を続けました。

大切なキーワードが入っていると、点数が上がります。

「あーわかった！！」と何人かの声があがります。

書けた子から再びホワイトボードに書かせていきました。

さらに答えが増えてきたところで、もう一つヒントを追加します。

キーワードは、全部で3つあります。

こうして、点数がどんどん上がっていきます。

が、9点までは出るもののなかなか10点満点は出ません。

そこでもう一つだけ伝えました。

桃太郎のお話で、一番大切なキーワードは何ですか。

「桃太郎です！！」

一番大切なキーワードで文が終わるように書けば、プラス1点です。

つまり、タネを明かしてしまうとこうなります。

大切なキーワードは3つ。

それらが1つでも入っていれば3点。

2つ入っていれば6点、3つなら9点。

3つ全部入っていて、さらに一番大切なキーワードで終わるようにまとめ

であれば10点満点というわけです。

子どもたちは、どんどん要約文を書いてノートを持ってきました。  
さて、桃太郎はどんな要約文になったでしょうか。

桃太郎の要約文を、子どもたちは次のように書いてきました。

犬さるきじと鬼たいじをした桃太郎。  
犬さるきじと鬼たいじに行く桃太郎。  
鬼たいじを犬さるきじとした桃太郎。

ほとんど例外なく、上のような文章を書きました。  
もちろんどれも10点満点です。

このように正しく要約すれば、ほとんどみんな同じになります。

こう説明した後、次の問題に移りました。

ドラえもんを20文字以内で要約してごらんください。

ルールが飲み込めた子どもたちは、次々と答えを伝えに来ました。

「えーっと、『ドラえもん』は入るとして…」

「のび太もきっと入るから……」

「わっ6点だ！すごい！！」

お話を思い浮かべ、キーワードを確定し、友だちと相談しながら、要約の練習に何度も挑戦している姿が見られます。

何回挑戦してもいいので、答えが思い浮かんだら先生の所に伝えに来てね。

このように伝えているところなので、ご家庭でも機会がありましたら、答えは何なのかを一緒に考えていただけると嬉しいです。

☆↓読者ページはこちらから↓☆ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcipcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

